

Vol.70

令和8年
SPRING

あなたのそばの、医療とあんしん。

好生館だより

＼ 吸って、吐いて、その呼吸、守れていますか。 ／



特集

肺 の 話



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

今日からもっと いい呼吸。



健やかな呼吸のために大切な「検診」と「禁煙」

私たちが当たり前のように繰り返している「呼吸」は、食事を楽しむ、人と語り、自力で歩き続けるための重要なエネルギー源です。いつまでも「自分らしい自由」を謳歌するため、自分の状態や予防する方法を知りましょう。



肺のこと どれくらい知ってる？

医学的根拠に基づいた あなたのための「呼吸診断」



- 階段の上り下りの際、同世代の人より **少し息が切れる** と感じる
- 風邪でもないのにせきやたんが出るのが **いつものこと** になっている
- 呼吸をするとき、かすかに **ゼーゼー、ヒューヒュー** と音がする
- 一度風邪を引くと、のどや鼻の症状が **長引く** ことが多い
- 20年以上 **たばこを吸っている**、または過去に長く吸っていた



【参照】日本呼吸器学会ガイドライン、COPD-PS質問票等に基づき作成



1つでも心当たりがある人は、
専門機関で検査を受けてみましょう

喫煙が原因でかかるリスクがある病気

肺がん



COPD

たばこを筆頭に受動喫煙、大気汚染、体質的な要因なども関係する疾患です。早期発見できれば根治を十分目指せます。

長年の喫煙などが原因で気管支に慢性的な炎症が起き、肺胞*が壊れてしまう疾患。壊れた肺胞は再生しないため、早期対策が重要です。

県民の
がん死亡原因 **1位**

病気認知度
全国ワースト **1位**

たばこの煙には多数の有害物質が含まれています。禁煙は何歳からでも健康改善の効果があるため、ぜひ禁煙に挑戦してみましょう。皆さん一人一人が禁煙や受動喫煙防止について考え、健康な生活環境づくりに取り組むことが、呼吸器疾患のリスクを減らす第一歩となります。

呼吸器内科
くぼた みお
久保田 未央先生



出典：令和6年人口動態月報年計(概数)の概況－佐賀県－

*肺胞とは、肺の奥にある小さな袋で酸素と二酸化炭素を交換する場所

出典：2025年COPD認知度把握調査(一般社団法人GOLD日本委員会)



検診を
受けましょう

いいことたくさん! 禁煙で「おいしく」「うれしく」変わる

禁煙は、豊かな生活を手に入れるための前向きな選択です



**味覚や嗅覚が
徐々に戻る**

日々の食事が驚くほど
美味しく感じられるように



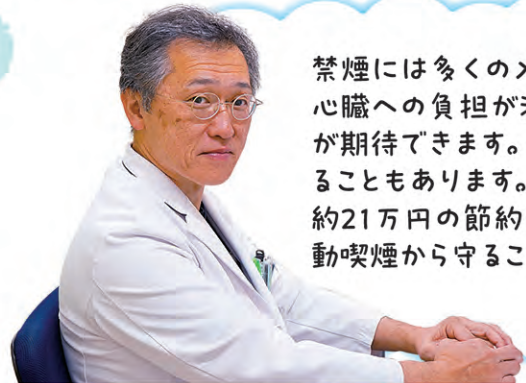
息切れが減る

階段や坂道も
らくらくスムーズ



**お金の使い方が
変わる**

浮いたたばこ代で新しい
趣味や家族との時間も



禁煙には多くのメリットがあります。まず健康面では、肺や心臓への負担が減り、がんや心臓病、脳卒中のリスク低下が期待できます。咳や息切れが減り、味覚や嗅覚が改善することもあります。さらに、1日1箱吸う人が禁煙すれば年間約21万円の節約にもなります。また、家族や周囲の人を受動喫煙から守ることにもつながります。

呼吸器外科 たけだ ゆうじ 武田 雄二先生

世界禁煙デー
5/31

.....

禁煙週間
5/31 ▶ 6/6

一歩踏み出すあなたを支えます



たばこをやめたいけれど自信がない。そう感じるのは意思の弱さではなく、ニコチンの強い依存性が原因です。
県内の医療機関には「禁煙外来」があります。1人で頑張る必要はありません。万全の態勢で、無理なく禁煙できるよう全力でサポートします。



禁煙外来
医療機関は
こちら



好生館でも
行っています

明日の呼吸が、健やかにになりますように。

増築棟が完成し、改修工事が進みます。



好生館では、時代の変化に対応し、より高度で安心安全な医療を提供するため、病院機能の充実に向けた増改築事業を進めています。その計画の要となるのが「管理棟」です。

管理棟は既存の病院棟の北側に位置し、渡り廊下で結ばれることで、病院全体の機能性を高める設計となっています。この建物には、救命救急と災害医療を担う最新の設備が備わります。

目的1 救急医療の充実

救急医療体制がさらに進化します

最新設備を整えた新棟の運用を開始いたします

佐賀県初「ハイブリッドER」を導入

最大の特徴は、救急初療室（処置室）・CT・血管造影・手術の全機能を1か所に集約した「ハイブリッドER（HERS）」の新設です。重傷の患者さんを一歩も動かすことなく、初期評価から根治的治療（検査から緊急手術まで）をその場で完結できる理想的な重症者対応室です。



救急科
救命救急センター長 岩村 高志 先生

救急および感染症対応の拡充

- 救急初療室を従来の3ベッドから、新型コロナウイルス感染症の経験から、ウイルスを室外に出さない「陰圧個室^{※1}」を含む4ベッドへと拡充
- ドクターヘリおよび救急車の動態把握や災害時メディア情報の取得を目的として天井吊り下げ型のモニターを設置

これらの最新設備の活用により、多発外傷を中心とした、従来救うことの出来なかった重症患者さんを救命に結び付けていくことが使命と考えています。



CT・血管造影室



救急初療室



陰圧個室

^{いんあつこしつ}
※1 陰圧個室とは、室内の空気や空気感染する可能性のある細菌が外部に流出しないように、気圧を低くしてある病室のことです。空気感染隔離室とも呼ばれます。主に、空気感染力が高い疾患（結核やSARS、水痘、麻疹）の治療室として使用されます。

培った経験と最新技術をいかして治療します

途切れない救命

交通事故や転落事故などで多発外傷を負った患者さんは、重症のために移動が困難になることがあります。ハイブリッドERはそのような場合でも画像診断をすばやく行い緊急治療も同時に行える大変有用な設備となります。

一刻を争う現場に、最善の医療を

外傷診療の経験が豊富なスタッフによる治療とハイブリッドERの強みをいかして、これからも最善を尽くします。

つかもと のぶあき
外傷センター長 塚本 伸章 先生





令和8年4月吉日 落成



好生館
マスコットキャラクター
コウたん

管理棟概要

延床面積 / 5577.35㎡
構 造 / 鉄骨3階建
(制振構造)

目的2 災害医療の充実

佐賀県の災害拠点病院としての機能を拡充しました

災害発生時に、DMAT（災害派遣医療チーム）や災害対策本部が迅速に活動できるスペースを確保しました。あわせて備蓄倉庫や、化学災害時に有害物質を洗い流すための温水配管を備えた「洗浄処置室」^{※2}を新設しています。

通常4ベッドの救急初療室は、災害時には最大で8ベッドの運用が可能です。

※2 放射性物質、劇毒物、または感染症ウイルスなどに汚染された人や物品の汚れを洗浄・除去し、汚染の拡大を防ぐ専用の部屋です。



救急用シャワー

洗浄処置室

今後のスケジュール

管理棟の完成後は、地域医療連携及び入退院支援機能を充実させるための既存病院棟の改修工事へと移ります。引き続きご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

2026年4月
管理棟 完成

既存病院棟 改修工事

2027年4月
全棟 完成
予定



医事待合



エントランスホール

レストラン

クロスワン
館内レストラン「Crossone」が
ピース
「B'EASE」へ。

館内に癒しと安らぎを。
場所を変え装いも新たな「B'EASE」で、
皆様をお待ちしています。



日替りランチ

ちゃんぽんも
好評です!

NEWS
02

好生館における 第1例目の脳死下臓器提供を行いました

2025年12月、好生館において脳死下臓器提供が行われました。過去に心停止後の臓器提供はありますが、脳死下の臓器提供は今回が初めてでした。当館は「臓器移植委員会」と「脳死判定委員会」を設置しており、年1回「臓器提供シミュレーション」を実施してきました。シミュレーションには（公財）佐賀県臓器バンクの臓器移植コーディネーターも参加いただき、作成したシナリオに沿って配役を決め行いました。「脳死下臓器提供対応マニュアル」を作成し、シミュレーションで流れを把握していたことが、今回の脳死下臓器提供の実践に役立ちました。

脳死下臓器提供スケジュールは摘出手術の実施可能時間から逆算して、第1回目および第2回目の脳死判定時間を決めていきます。第2回目の脳死判定終了時間が死亡時刻と



なります。今回は、心臓、肺、肝臓、膵臓、腎臓を摘出することとなり、摘出チームが4チーム来館しました。受け入れにあたっては、当館も委員会メンバーと事務部がワンチームとなり活動しました。その結果、予定通り摘出手術が終了し無事に臓器提供することができました。移植後のレシピエントの状態も良好との情報が入り「頑張って良かった」と感じた初めての脳死下臓器提供の経験でした。

最後に貴重な臓器を提供いただいたドナーとご家族へ心より感謝申し上げます。

臓器移植委員会

看護部レター

地域周産期
母子医療センター
公式Instagram



ファミリー学級

赤ちゃんを迎える準備、 はじめてみませんか？

出産を控えた妊産婦さんへ切れ目ない支援を行うため、外来助産師と病棟助産師が協力し、ファミリー学級（出産前学級）を開催しました。第1回目は妊婦さんとそのパートナー及びご家族を対象に、出産・育児の正しい知識を学んでもらい、体験を通して、安心して出産・育児に臨めるよう企画しました。

学級では、沐浴や着替え、オムツ交換、抱っこなどの育児体験や、赤ちゃんがいる生活をイメージしながら今後の生活について考える時間を設けました。

今後も月1回の開催を予定しており、妊婦さんとご家族が安心して出産・育児を迎えられるよう支援を続けていきます。詳細は館内の掲示やInstagramでお知らせしていますので、お気軽に助産師外来へお問い合わせください。



赤ちゃん人形で
沐浴体験



赤ちゃん人形で
お着替え体験



好生館
マスコットキャラクター
コウたん

連携医療機関のご紹介



〒849-0201
佐賀市久保田町徳万1639-1
☎0952-68-2466
診療科：内科・泌尿器科
理事長：井上 通朗
副院長：井上 真由美



アピールポイント

当クリニックでは患者様の訴えをよく聞き、正確な診断をつけることに重きを置いており、レントゲン、エコー、内視鏡、CTなど検査機器の充実を図っています。治療に関しても常に地域の中核病院と連携をとりながら、適切な診断の元に適切な治療を患者様に提案することを心がけております。また内科、泌尿器科とそれぞれ専門の医師が、病気の



相談から日常の健康管理まで相談しやすい環境づくりを心がけており、気軽に相談ができる診療所を目指しています。

地域の医療機関の先生方へ

泌尿器科があることもあり、かなり遠方の地域の診療所からの紹介もあり、今後とも病診連携・診診連携をはかっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。また内科も併せて周辺の医療機関の先生方にはお世話になることも多いかと思っておりますので今後もこれまで同様よろしくお願いいたします。

県民の皆さまへ

一般内科に加え泌尿器科もあることから両方の病気を同時に通院している患者様も多くいらっしゃいます。地域の皆さまに気軽に相談していただければ幸いです。

趣味・休日の過ごし方

クリニック開業後、夫婦で下手なゴルフを続けてきました。休日を潰してスコアが悪く、かえってストレスが溜まることもありますが、これからは健康のためにも続けていきたいと思っております。



〒849-0921
佐賀市高木瀬西5丁目15番27号
☎0952-32-1214
診療科：皮膚科、美容皮膚科
理事長・院長：永瀬 浩太郎



アピールポイント

当院は、今年で開院40周年を迎えるクリニックで、複数の皮膚科専門医が在籍しており、外来は常に二人体制での診療を行っています。皮膚疾患・皮膚トラブル全般に対して幅広く診療を行っていますが、その中でもアトピー性皮膚炎や乾癬、慢性蕁麻疹などの難治性・慢性疾患に対する生物学的製剤・分子標的薬を用いた全身治療、皮膚がんを含む腫



瘍性病変の外来手術、そして美容皮膚科診療など、それぞれの分野で専門性の高い治療を提供しています。今後もより多くの方々に貢献できるよう、地域の皆さまに信頼されるクリニックを目指して、スタッフ一同精進してまいります。

地域の医療機関の先生方へ

皮膚は目に見える臓器であり、先生方が皮膚疾患に遭遇したり、相談を受けたりする機会は少なくないかと思っております。それらの各種検査や治療はもちろんのこと、病診連携を含めたマネージメントまで当院で対応いたします。

皮膚のことでお困りの際には、ぜひお声がけください。

県民の皆さまへ

地域に根ざした「かかりつけ皮膚科」として、皆さま一人ひとりに、適切でかつ専門性の高い診療を提供できるよう努めております。皮膚に関するお悩みは、なんでもお気軽にご相談ください。女性医師も勤務しておりますので、女性医師の診察ご希望の方も安心してお越しいただけます。

趣味・休日の過ごし方

家族全員でサガン鳥栖の応援をしています。シーズン中は、ホーム戦・アウェイ戦に関わらず行ける限り現地観戦に行っています。勝つ喜びも、負ける悔しさも、日々の生活に良い刺激になっています！



おおてき ひとし
理事長 樗木 等

平素より好生館が大変お世話になっています。

春は入学式、辞令式などと慌ただしくも新鮮な雰囲気です。好生館は4月1日づけ新規採用者144名（医師63名、看護師48名、その他33名）うち新社会人76名です。部門部署で教育、研修、指導を実施し、全ての職員の段階に応じた人材育成も継続的かつ重要な取り組みです。

2026年度の診療報酬改定は久しぶりのプラス改定です。好生館は提供する救急医療、高度急性期医療などを反映させ、適正な診療報酬に繋げるように努力いたします。また、人件費、ベースアップ評価料、物価高騰対策などの改善になればと希望します。安心安全な医療提供のためには職員の心の安寧が必要で、経営の安定がその支援となります。

私事ですが、2026年4月より好生館第5期中期目標期間の理事長再任を拝命いたしました。誠心誠意、県民の皆さまの医療提供に尽くす所存です。今後とも好生館のご指導ご支援のほど宜しくお願い致します。



たなか としや
館長 田中 聡也

2026年度の始まりにあたりご挨拶申し上げます。世界を見渡すと分断と対立が蔓延り、日に日に世界が悪くなっていると感じます。一方医療を取り巻く環境も、人口構造の変化や医療人材の不足、医療技術の高度化などにより大きく変化しています。

こうした時代において、医療は「競争」や「強制」によって成り立つものではなく、「共創」と「共生」によってこそ持続可能なものになると信じています。地域の医療機関同士が役割を尊重しながら連携し、患者さんと医療者が互いに信頼し協力し合うこと、そして病院の職員が同じ目標を共有し支え合うことが、より良い医療につながります。

私たち好生館は、地域医療の中核を担う病院として、地域の医療機関や関係機関の皆さまと力を合わせ、患者さん一人ひとりに最良の医療を提供することを目指しています。今年度も「競争、強制より共創、共生」という考えのもと、地域とともに歩む病院であり続けたいと考えています。皆さまのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



YouTube 動画の紹介



鼻のチューブに代わる もう一つの選択肢

身体への栄養を十分に行き渡らせたり、胃や腸にたまった食べ物や水分などを身体の外に出す必要がある患者さんには、鼻やお腹から胃にチューブを留置する治療がされています。

放射線科では、鼻やお腹以外のもう一つの選択肢として、「首元」からチューブを通す「PTEG（経皮経食道胃管留置術）」が施行されています。

この動画では、そのPTEGを含め、胃にチューブを通す方法について、佐賀県医療センター好生館の森田先生が分かりやすくご紹介します。

もりた こういちろう
放射線科 森田 孝一郎 先生



好生館だより vol.70 に対する
ご意見・ご感想を募集しています！



地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL 0952-24-2171 (代表) FAX 0952-29-9390



ホームページ



YouTube



Instagram



X



LINE



facebook